

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	有限会社瓦照苑
公演団体名	夙川能舞台瓦照苑

内容
<p>【時間短縮版（70分）】 「たのしくまなぼ！能・狂言」 第一部：能パート</p> <p>1. 能ってなあに？仕舞「高砂」鑑賞と能面鑑賞（15分） 仕舞「高砂」を鑑賞した後、事前学習の内容（能楽について）を、能面鑑賞等を通して簡単に復習します。</p> <p>2. 謡と体験（10分） 能の謡の体験を行います。呼吸法や発声法等をわかりやすく伝え、本公演共演の為の祝言謡「老松」の稽古をします。</p> <p>第二部：狂言パート</p> <p>3. 能と狂言の違い（10分） 能がシリアスな内容、狂言がコミカルな内容という原則のもと「笑い方」「雷を落とす」等、動き方や表現の仕方の違いを楽しく鑑賞してもらいます。</p> <p>5. 狂言体験～仏像に変身？（20分） 狂言「仏師」で、すっぱが「仏像」に変装する時の『お多福』の面を紹介し、工作した面をつけて、本公演で実際に行われる「すっぱが仏像に変装する」やり取り（男側、すっぱ側の両方）をゲーム要素を入れて体験します。 その際、自ら考えた仏像のポーズを自由に表現してもらいます。 その中からいくつかのポーズを選択し、実際の公演に取り入れます。</p> <p>6. 終わりのあいさつ（5分）</p> <p>※途中に10分休憩有 希望者は能面体験や能楽師とのフリートークを行えます。 （ふれあいタイム） ※60分に短縮の場合は、間休憩を省きます。</p> <p>【時間短縮版（45分）】</p> <p>1. 能ってなあに？仕舞「高砂」鑑賞とご挨拶（15分） 仕舞「高砂」を鑑賞した後、事前学習の内容（能楽について）を簡単に復習します。</p> <p>2. 能と狂言の違い（5分） 能がシリアスな内容、狂言がコミカルな内容という原則のもと「笑い方」「雷を落とす」等、動き方や表現の仕方の違いを鑑賞してもらいます。</p> <p>3 能面紹介と謡の体験（10分） 能面をいくつか紹介したのち、本公演で共演する祝言謡「老松」の稽古をします。</p> <p>4. 狂言面の紹介と狂言体験～仏像に変身？（20分）</p>

狂言「仏師」で、すっぱが「仏像」に変装する時の『お多福』の面を紹介し、工作した面をつけて、本公演で実際に行われる「すっぱが仏像に変装する」やり取り（男側、すっぱ側の両方）をゲーム要素を入れて体験します。

その際、自ら考えた仏像のポーズを自由に表現してもらいます。

その中からいくつかのポーズを選択し、実際の公演に取り入れます。

6. 終わりのあいさつ（5分）

タイムスケジュール（標準）

[例：13：30より開始の場合]

12：30頃 到着・準備

13：15 入場

13：30 開始

14：40 終了（45分短縮 ver. の場合は14：15）

15：10頃 撤収・退出（45分短縮 ver. の場合は15：00）

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

5名（主指導者1名、補助者4名）

学校における事前指導

- ・能楽解説のDVDを事前に鑑賞し、能楽とはどういうものか、という基本の学習をお願いします。
- ・本公演を45分の短縮で行う場合は、あらすじについての事前学習をお願いします（DVD送付予定）。
- ・ワークショップで使用するお多福の面の工作を済ませておいてください（簡単な組み立てです）。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	有限会社瓦照苑
公演団体名	夙川能舞台瓦照苑

演目
<p>【時間短縮版（約70分）】</p> <p>第1部 能と狂言ってな～に？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの挨拶（5分） ・狂言「仏師」のお話と鑑賞（15分） 作者：河竹黙阿弥 上演形式：省略版 <p>—間休憩 10分—</p> <p>第2部 半能「大会」鑑賞（プロジェクター投影による歌詞やイラスト解説付）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能開演の儀 ～謡に挑戦！老松を謡ってみよう～（10分） ※舞台後方に歌詞を投影。 ・半能「大会」のお話と鑑賞（25分） 作者：不詳 上演形式：省略版 <p>【時間短縮版（約45分）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめの挨拶と能開演の儀～謡に挑戦！老松を謡ってみよう～（10分） ・狂言「仏師」鑑賞（10分） 作者：河竹黙阿弥 上演形式：省略版 ・半能「大会」鑑賞（20分） 作者：不詳 上演形式：省略版 ・終わりの挨拶（5分） <p>※45分短縮版場合は、事前に狂言「仏師」、能「大会」のあらすじについて、学習をお願いします（DVD 発送予定）</p>

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
17名（出演者16名、舞台進行1名）

タイムスケジュール（標準）
<p>[例：13：30より開始の場合]</p> <p>10：00 舞台設営チーム到着</p> <p>10：00～12：00 舞台設営</p> <p>12：00～12：30頃 他の出演者到着・準備</p> <p>13：00 入場</p> <p>13：30 開始</p> <p>14：40 終了（45分短縮 ver. の場合は14：15）</p> <p>14：50～ 舞台撤去（45分短縮 ver. の場合は14：25～）</p> <p>15：10頃 出演者退出（45分短縮 ver. の場合は14：45頃）</p> <p>16：10頃 舞台設営チーム退出（45分短縮 ver. の場合は15：45頃）</p>

実施校への協力依頼人員

会場設営等の補助：1名程度

到着時の門の開閉（必要な場合）、駐車スペースの指示、電源・照明等の説明、控室等の案内、学校の音響設備の準備をお願いします。

舞台共演：1名

能開演の儀を行う際、代表者1名に袴をつけてもらい、能奉行を演じていただきます。（代表は児童でも先生でも構いませんが、開演前～能開演の儀が終わるまで、控室にて着替えて待機出来る方をお願いします）

演目解説

狂言「仏師」あらすじ

自宅に御堂を建てた男は、仏師に仏を造ってもらおうと都に出かけ、仏像を「買いたい」と大声で言い回ります。すると自分は仏師だというすっぱ（嘘つき）が近寄ってきました。男は大喜びし、早速仏像を注文します。

次の日、完成した仏像を見に行った男。素晴らしい出来栄えのその仏像、実はすっぱが変装したもので…。

すっぱの「仏師」と「仏像」の「1人2役」がわかり易く楽しい演目です。

半能「大会」あらすじ

お坊様に助けてもらった天狗は、恩返しがしたいとお坊様の願いを聞き（省略箇所）、お釈迦様に化けて説法を始めます。それを見て、お坊様はあまりのありがたさに手を合わせて拝んでしまいます。すると、「正直なお坊様をもてあそぶとは何事か」と怒った仏教守護の神様「帝釈天」が駆けつけて、天狗をこらしめます。怒られるのが嫌な天狗は暫く争いますが、最後は平身低頭謝り、自分の住まいへ逃げ帰って行くのでした。

『荘厳な釈迦仏の説法を真似た天狗の術』を帝釈天によって打ち破られ、天狗が正体を現す場面は、謡・囃子の緩急ある音楽性で表すばかりでなく、顔や髪の毛、装束の色など、姿かたちからガラッと変わる為、非常にインパクトがあり、低学年にも分かりやすい演出となっています。また、後半の作り物（大道具）は釈迦如来の椅子「獅子の座」を表し、安易に表現すると、とても大きな椅子に座る天狗が大変偉そうぶっていることがわかります。故に、「偉い人のふりをして騙そうとした」という天狗の行為が児童に明確に伝わります。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

①狂言「仏師」で、すっぱが「仏像」に変装する時のお多福の面をみんなで作ります。そしてその面をつけて、ポーズを児童生徒に考えてもらい（事前ワークショップ）、実際の公演に取り入れます。状況により、ポーズをいくつか提示して、生徒に選んでもらう場合もあります。

②薪能等でよく行われている「能開演の儀（能奉行舞台改め）」を共演します。代表者1名（教師または児童・生徒）が和装して能奉行に扮し舞台上がり、能奉行の合図の掛け声を聞いて、全校児童・生徒が祝言謡「老松」をシテ方と共に発表します。

児童生徒とのふれあい

・「能開演の儀」では、能奉行に扮した代表者（1名）に舞台上がってもらい、直前に練習した謡をみんなで謡って、一緒に「舞台の始まり」を盛り上げます。